

鶴群

植樹周辺の草刈りを行いました



集合写真

6月17日(日)

10時より、苗畑として借用地30アールに育苗している場所と2015年50周年記念植樹し二年前に18500㎡取得した場所の2か所、苗木の下草刈り作業を行いました。

草刈作業に参加して頂いた吉田守人会長、大山昇副会長、市議の松橋尚文さん、お手伝いとして参加して頂いた佐藤さん、事務局の高野 5名で頑張りました。昨年とはとても暑く35度の猛暑でしたが、今年は20度と作業するのにとても良い気候でした。草丈も昨年より短く草刈作業が楽でした。昨年より1ヶ月早く予定を組んだのが良かったのかもしれませんが。次年度期待することは、もう少し作業する方々の参加が増えることを望みます。



草刈りの様子

50周年記念植樹した18500㎡の場所は、当時エゾヤマザクラ、ハルニレ・ナナカマドなど60本植樹したのですが、鹿に食べられハルニレが数本残っておりまして。あれから1年、今回は全滅ではないかと思っておりましたが、草刈作業をしていると枯れているような木の下から若芽が出ているのが数本見られました。エゾヤマザクラやナナカマドのような気がします。鹿に食べられないで、すくすくと成長してくれればと願っています。



新しい芽が出てきました

ボランティアスタッフを募集しています

「丹頂とかかわりながらボランティアをやってみたい…」「丹頂を通して自分のできることをやってみよう…」などを考えている方、タンチョウ鶴愛護会のボランティアは、皆様各自のご希望に沿って対応していきます。全国どこからでも受け付けます。自宅でご自分の能力を生かして愛護会で活動してみませんか？

※特に愛護会としては翻訳ボランティアを募集しています。

下記の連絡先までお気軽にお問合せ下さい。



釧路市タンチョウ鶴愛護会 事務局(釧路湿原美術館内)

Tel 0154-66-1117 Fax 0154-66-1121



愛護会総会の様子

タンチョウにとって居心地の良い環境作りを

釧路市タンチョウ鶴愛護会 会長 吉田 守人



全国の会員皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。当会に対しまして、会費のみならず多くのご寄付も賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

タンチョウの里の給餌につきましては今シーズンも活魚の給餌の許可が下りず繁殖率の低下が懸念されるところでもございます。5月には30年度の定期総会も終了し、本年度の活動方針も了承され、第一弾の活動として、苗畑で育てている広葉樹の下草刈りを終了したところでございます。植樹の土地に少しでも早く移植をしたいのですが補助金等の目処がつかず、来年に向けての事業となりそうです。

タンチョウの里はようやく夏の気温となりましたが朝晩は寒く、全国各地の猛暑とは違うところです。夏涼しい阿寒の地で長期滞在される方もいらっしゃいますので、お問い合わせいただければ、お力になれるものと存じます。

まもなく環境省による平成30年度の給餌の検討会が行われますが、コーンの給餌量はさらに減らされるようです。タンチョウにとって居心地の良い環境作りにもこれからも邁進するつもりでございます。

さて、現在オーストラリア人がボランティア活動をしてくれており、愛護会の歴史を英語に翻訳してくれてまして、ホームページ上に英語版が登場する予定です。

今回の西日本における豪雨災害、広島県、岡山県を中心に大変な災害となり、多くの方々がお亡くなりになり、未だ行方不明の方もおられます。謹んでお悔やみを申し上げます。毎年高額な寄付金をお寄せいただいております東広島市の「賀茂鶴酒造株式会社」様のところは大きな被害もなく、また社員のみならず大きな被害はなかったとお伺いしておりますが、8月28日に行われる予定の「賀茂鶴酒造法人設立百周年記念祝賀会」は諸般の事情から中止となりました。

今年も地道な活動となりますが、タンチョウを愛しタンチョウに愛される地域作りに頑張ってお参りしますのでご支援のほどよろしくお願い申し上げます。